

## 第4章 検討結果と整備の進め方

### 1 検討結果のまとめ

第2章及び第3章で検討した5つの検討事項及び結果を整理するとともに、検討結果に基づく結論を以下のとおり取りまとめた。

**【検討1】 西地区の特性を踏まえた海岸防護の整備の考え方は？**

⇒ 整備の重点箇所は、**タイプⅢとタイプⅣ**の地区（D～P地区）・・・【結論1】

**【検討2】 津波・高潮に対する防護に必要な天端高は？**

⇒ 最も高い計画天端高が必要なのは、**エリア6（L、M、N、O、P）**・・・【結論2】

⇒ 計画天端高は、**エリアごとに設定（T.P. +3.0m～T.P. +6.0m）**

**【検討3】 整備を必要とする「地区」は？**

⇒ 整備の必要性が高い地区は、**E、F、K、L、M、N、O、P**・・・【結論3】

**【検討4】 必要なハード整備・ソフト対策は？**

⇒ ハード整備（直接的整備）の課題がより少ない地区は、**K、L**・・・【結論4】

ハード整備（直接的整備）の課題が少ない地区は、G、M、O、P

⇒ ハード整備（直接的整備）は**胸壁（新設）と護岸（改良）**が中心

また、アクセス性に配慮し、**陸閘や階段**の設置を検討

⇒ ハード整備（間接的整備）は、必要に応じて実施

⇒ ソフト対策は、**避難に対する啓発活動**を中心に引き続き実施

監視カメラについては、設置した際の管理・運営等の課題あり



**【検討1～検討4の結論の整理】**

①津波高が高く、整備の必要性も高い地区は、**長井漁港周辺**

②ハード整備（直接的整備）の課題が少ない地区は、**小田和湾の南側に集中**

③整備の必要性が高く、整備上の課題も少ない地区は **K、L、M、O、P**（①、②の結果）



**【検討5】 優先的に整備すべき地区は？**

⇒ 地区の状況や整備の重要性・緊急性を考慮（点数化）した結果、

整備の優先順位(上位5位)は、**K→L→O→M→F**・・・【結論5】

## 2 整備の進め方と留意事項について

### (1) 整備の進め方

西地区海岸は、自然の砂浜や岩礁が多く残る自然に恵まれた海岸であり、四季を通じて観光・レクリエーションの場として市民等に親しまれている。

また、変化に富んだ地形を活かした漁業も盛んな地域であり、海岸の利用が多種にわたっていることから、本計画の策定に当たっては、「防護、環境、利用」の視点や地域や地区の特性を踏まえ、検討を行った。

検討に当たっては、整備対象箇所、対策方法、整備優先度など5つの検討を行い、それぞれの検討結果を整理し、今後の整備の進め方について一定の結論を導き出した。

今後は、西地区海岸の整備に向けて課題が多い地区もあり、西地区海岸全体の整備には相当の費用と時間を要することが想定されるため、本計画における考え方や整備優先度の検討結果に基づき、順次、具体的な整備計画を策定し、整備を進めて減災に向けて取り組むこととする。

### (2) 留意事項

今後、具体的な整備計画を策定する際には、地区ごとの課題や現状を考慮するとともに、以下の事項に留意して進めることが重要である。

#### 【今後の整備を進めるうえでの留意事項】

- ①今後、具体的な整備計画を策定する際には、整備の実施に向けた地区住民・関係者・関係機関などとの十分な協議や調整などが重要
- ②漁港背後に胸壁などを整備する場合は、漁港施設による多重防護の考え方<sup>(※)</sup>により、整備天端高の低減についての検討が必要
- ③河川からの浸水に対する防護は、現地の状況や予想される浸水規模、対策方法などについて十分な検討・調整が必要
- ④民有の護岸や用地を対象とした整備は、対策方法や施設の設置位置などについて、護岸や用地の所有者に対し十分な説明を行い、西地区海岸の防護について理解を得ることが必要
- ⑤本計画における検討は、基本的にL1津波を対象としているが、L2津波に対しては、基本的に避難を軸としたソフト対策を進めるとともに、本計画に基づく整備に当たっては、L2津波に対して粘り強い構造での整備の観点も取り入れていくことが必要

#### (※)多重防護の考え方

多重防護とは、漁港外側の防波堤整備と防潮堤（胸壁）整備を組み合わせる等の相乗効果で、津波浸水高や流速低下による施設等の被害低減、津波到達時間の遅延が期待でき、避難時間の確保など防災・減災の効果を目指すものである。

### 3 地区ごとの整備イメージ（個票）

これまでの検討結果から、西地区海岸で整備を進めるために 18 地区の地区ごとに津波浸水予測や計画天端高、整備タイプなどの諸条件や「防護、環境、利用」の観点からの地区状況などを整理した整備イメージ（個票）を作成した。

整備イメージ（個票）は、各地区をL1津波や高波浪による浸水からハード整備のみで防護する整備イメージとなっているが、今後、地区ごとにハード整備（間接的整備）やソフト対策などの観点も含め、具体的な整備計画を策定するための参考として作成したものである。

なお、ハード整備の断面イメージは、26、27 ページ「表-3.1」において整備対象箇所として抽出した地区のうち、海岸保全施設として整備が想定される地区（E～G地区、K～P地区）について作成している。

| 【F地区】                 |  |   |  |                       |            |
|-----------------------|--|---|--|-----------------------|------------|
| 海岸名                   | 佐島漁港海岸   | 地区名   |  | 所管                    | 水産庁        |
| 最大津波高                 | T.P.+5.9m (内湾側：+2.7m)  | 計画波浪  |  | $H_0'=0.94m$          | $T_0=9.4s$ |
| 優先する外力                | 津波   | 設計高潮位   |  | T.P.+1.26m            |            |
| 現況天端高                 | T.P.+2.2m ~ +4.0m  | 計画天端高   |  | T.P.+6.0m (内湾側：+3.0m) |            |
| 整備タイプ                 | 防護と利用に配慮した整備(IV)   | 住宅地への浸水の有無  |  | 有・無                   |            |
| 海岸の地形・構造物             | 岩礁、砂浜、物揚場、船揚場、護岸   | 背後地の利用状況  |  | 漁港、マリーナ、商業施設、道路、住宅    |            |
| 地区状況                  | 防護   | ・天神島周辺の住宅やマリーナでは、津波浸水が想定される。<br>・漁港やマリーナに多くの船が係留されているため、津波による二次的災害が懸念される。 |  |                       |            |
|                       | 環境   | ・天神島には、塩生植物群落がある。   |  |                       |            |
|                       | 利用   | ・佐島漁港（本港地区）があり、漁業が営まれている。<br>・マリーナがある。                                    |  |                       |            |
| ハード整備の概要              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・護岸（嵩上げ改良） [F1][F2(民有)]</li> <li>・胸壁（新設） [F3]</li> <li>・必要に応じて陸間やアクセス階段を整備</li> </ul>                         |   |  |                       |            |
| 【平面図】                 |  | 【位置図】   |  |                       |            |
|                       |  |   |  |                       |            |
| <p>【ハード整備の断面イメージ】</p> |  |   |  |                       |            |
| ハード整備をする上で想定される問題点    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設整備により、景観の悪化やアクセス性の低下が懸念される。</li> <li>・陸間を設置した場合には、管理等の調整が必要である。</li> <li>・民有の護岸は、所有者との調整が必要である。</li> </ul> |   |  |                       |            |
| 備考                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・[F2, F3] 漁港施設による多重防護の考え方により、整備天端高の低減の可能性について検討が必要である。</li> </ul>   |   |  |                       |            |

**【諸条件】**

- ・最大津波高と浸水予測
- ・計画天端高
- ・整備タイプ 等

**【地区状況】**

- ・海岸地形・構造物
- ・背後地の利用状況
- ・「防護・環境・利用」の観点からの各地区の特徴

**【ハード整備の概要】**

各地区をハード整備のみでL1津波や高波浪による浸水から防護する場合の計画案

- ・整備の種類
- ・整備場所
- ・ハード整備の断面イメージ
- ・想定される問題点

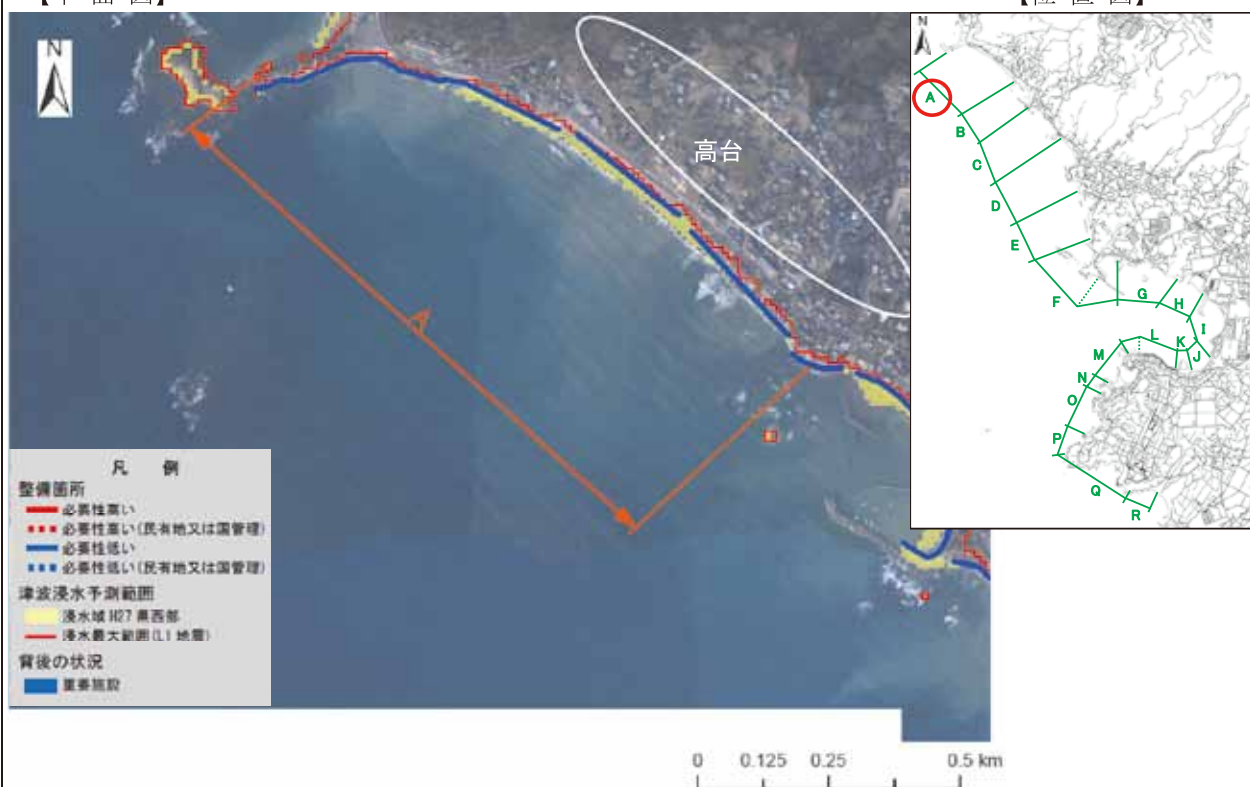
地区ごとの整備イメージ（個票）の事例

【A地区】

|           |  |   |            |                |               |
|-----------|--|---|------------|----------------|---------------|
| 海岸名       | 横須賀海岸                                  | 地区名   | 秋谷・大崩浜田    | 所管             | 国土交通省         |
| 最大津波高     | T.P. +3.5m                             |   | 計画波浪       | $H_0' = 5.79m$ | $T_0 = 11.9s$ |
| 優先する外力    | 高潮                                     |   | 設計高潮位      | T.P. +1.34m    |               |
| 現況天端高     | T.P. +5.7m                             |   | 計画天端高      | T.P. +5.0m     |               |
| 整備タイプ     | 点検・維持管理（Ⅱ）                             |   | 住宅地への浸水の有無 | 有・ <b>無</b>    |               |
| 海岸の地形・構造物 | 砂浜、護岸、消波堤                              |   | 背後地の利用状況   | 住宅、道路          |               |
| 地区状況      | 防護                                     | ・住宅前面に護岸が整備され、想定津波による住宅への浸水がほとんど見られない。            |            |                |               |
|           | 環境                                     | ・景勝地である長者ヶ崎に隣接し、海岸には海岸断崖地植生が見られる。                 |            |                |               |
|           | 利用                                     | ・サーフィン等の海洋レジャーに利用されている。<br>・背後地に幹線道路（国道134号線）がある。 |            |                |               |
| ハード整備の概要  | ・既存の施設により防護され、定期的な点検等により施設の機能維持を図っていく。 |   |            |                |               |

【平面図】

【位置図】



|                    |                           |
|--------------------|---------------------------|
| ハード整備をする上で想定される問題点 | ---                       |
| 備考                 | ・神奈川県による侵食対策（養浜）が実施されている。 |

【B地区】

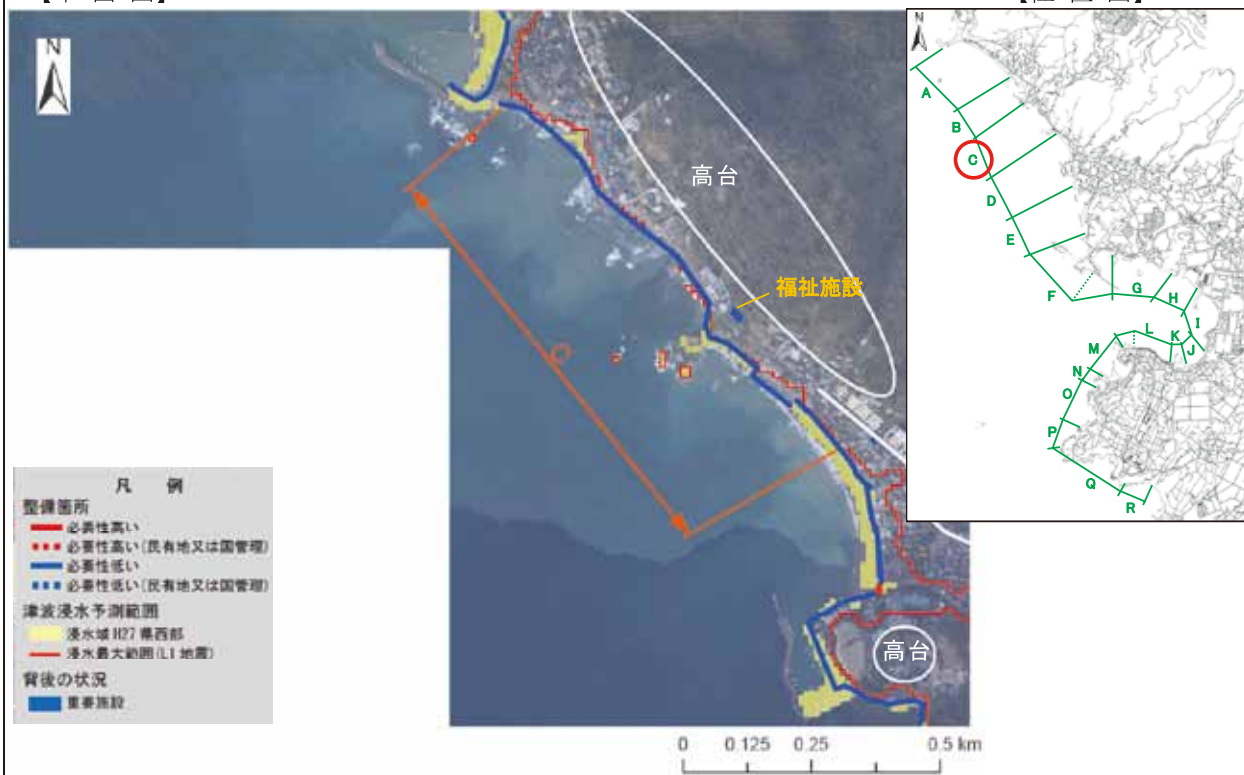
| 海岸名   | 久留和漁港海岸  | 地区名  | 久留和        | 所管  | 水産庁 |
|---|--|--|------------|---|-----|
| 最大津波高   | T.P.+3.3m  |  | 計画波浪       | H <sub>0</sub> ' =2.48m T <sub>0</sub> =11.7s |     |
| 優先する外力  | 津波   |  | 設計高潮位      | T.P.+1.34m                                    |     |
| 現況天端高   | T.P.+3.5m  |  | 計画天端高      | T.P.+5.0m                                     |     |
| 整備タイプ   | 点検・維持管理(Ⅱ)   |  | 住宅地への浸水の有無 | 有・ <b>無</b>                                   |     |
| 海岸の地形・構造物   | 砂浜、物揚場、船揚場、護岸  |  | 背後地の利用状況   | 漁港、道路、住宅                                      |     |
| 地区状況  | 防護   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁港内は、津波浸水が想定される。</li> <li>・河川(久留和川)が流入している。</li> </ul> |            |   |     |
|   | 環境   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁港に隣接して良好な砂浜(久留和海岸)がある。</li> </ul>                     |            |   |     |
|   | 利用   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁港に隣接している砂浜は海水浴に利用されている。</li> </ul>                    |            |   |     |
| ハード整備の概要  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状で護岸などの施設により防護されていることから、定期的な点検等により施設の機能維持を図っていく。</li> </ul> |  |            |   |     |
| <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【平面図】</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>【位置図】</p> </div> </div> |  |  |            |   |     |
| ハード整備をする上で想定される問題点  | ---  |  |            |   |     |
| 備考  |  |  |            |   |     |

【C地区】

|           |  |  |            |                |               |
|-----------|--|--|------------|----------------|---------------|
| 海岸名       | 横須賀海岸  | 地区名  | 秋谷・海老田     | 所管             | 国土交通省         |
| 最大津波高     | T.P.+3.8m  |  | 計画波浪       | $H_0' = 5.40m$ | $T_0 = 11.3s$ |
| 優先する外力    | 津波   |  | 設計高潮位      | T.P.+1.34m     |               |
| 現況天端高     | T.P.+5.5m  |  | 計画天端高      | T.P.+5.0m      |               |
| 整備タイプ     | 点検・維持管理(Ⅱ)   |  | 住宅地への浸水の有無 | 有・ <b>無</b>    |               |
| 海岸の地形・構造物 | 岩礁、護岸  |  | 背後地の利用状況   | 道路、住宅、公園、駐車場   |               |
| 地区状況      | 防護   | ・海岸線に護岸が整備され、住宅は高台に位置しているため、想定される津波浸水域がほとんど見られない。  |            |                |               |
|           | 環境   | ・景勝地である「秋谷の立石」がある。<br>・立石公園が整備されている。               |            |                |               |
|           | 利用   | ・シーカヤック等の海洋レジャーに利用されている。<br>・背後地に幹線道路(国道134号線)がある。 |            |                |               |
| ハード整備の概要  | ・現状で護岸などの施設により防護されていることから、定期的な点検等により施設の機能維持を図っていく。 |  |            |                |               |

【平面図】

【位置図】

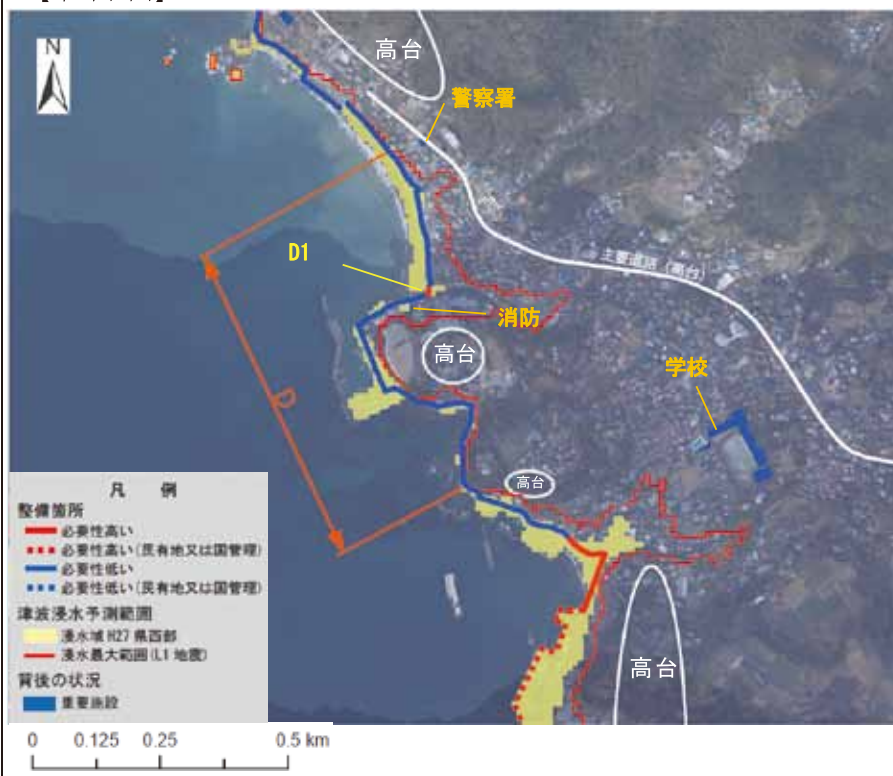


|                    |   |
|--------------------|---|
| ハード整備をする上で想定される問題点 | — |
| 備考                 |   |

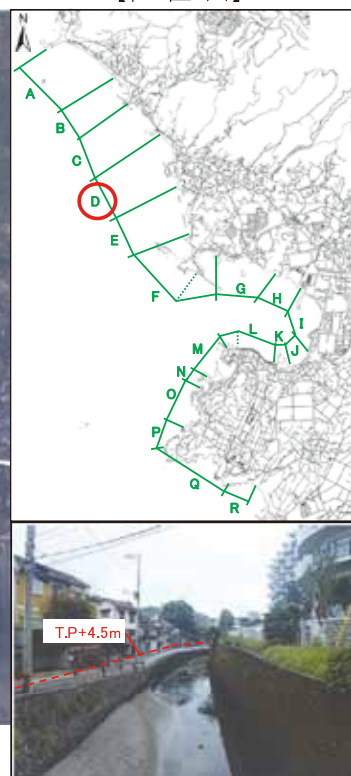
【D地区】

|           |   |   |            |                |               |
|-----------|---|---|------------|----------------|---------------|
| 海岸名       | 秋谷漁港海岸  | 地区名   | 秋谷         | 所管             | 水産庁           |
| 最大津波高     | T.P.+4.2m   |   | 計画波浪       | $H_0' = 4.34m$ | $T_0 = 11.2s$ |
| 優先する外力    | 津波  |   | 設計高潮位      | T.P.+1.26m     |               |
| 現況天端高     | T.P.+4.2m ~ +5.7m   |   | 計画天端高      | T.P.+4.5m      |               |
| 整備タイプ     | 防護と利用に配慮した整備(IV)  |   | 住宅地への浸水の有無 | 有・無            |               |
| 海岸の地形・構造物 | 砂浜、岩礁、物揚場、船揚場、護岸  |   | 背後地の利用状況   | 漁港、道路、住宅       |               |
| 地区状況      | 防護  | <ul style="list-style-type: none"> <li>砂浜付近は津波浸水が想定されるが、住宅への浸水はほとんどない。</li> <li>前田川の河口付近に小規模であるが、津波浸水が想定される。</li> </ul> |            |                |               |
|           | 環境  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「秋谷の立石（立石公園）」に隣接して、良好な砂浜（秋谷海岸）がある。</li> </ul>                                    |            |                |               |
|           | 利用  | <ul style="list-style-type: none"> <li>秋谷漁港があり、漁業が営まれている。</li> <li>砂浜は海水浴に利用されている。</li> </ul>                           |            |                |               |
| ハード整備の概要  | <ul style="list-style-type: none"> <li>河川護岸（嵩上げ改良）[D1]</li> </ul> |   |            |                |               |

【平面図】



【位置図】



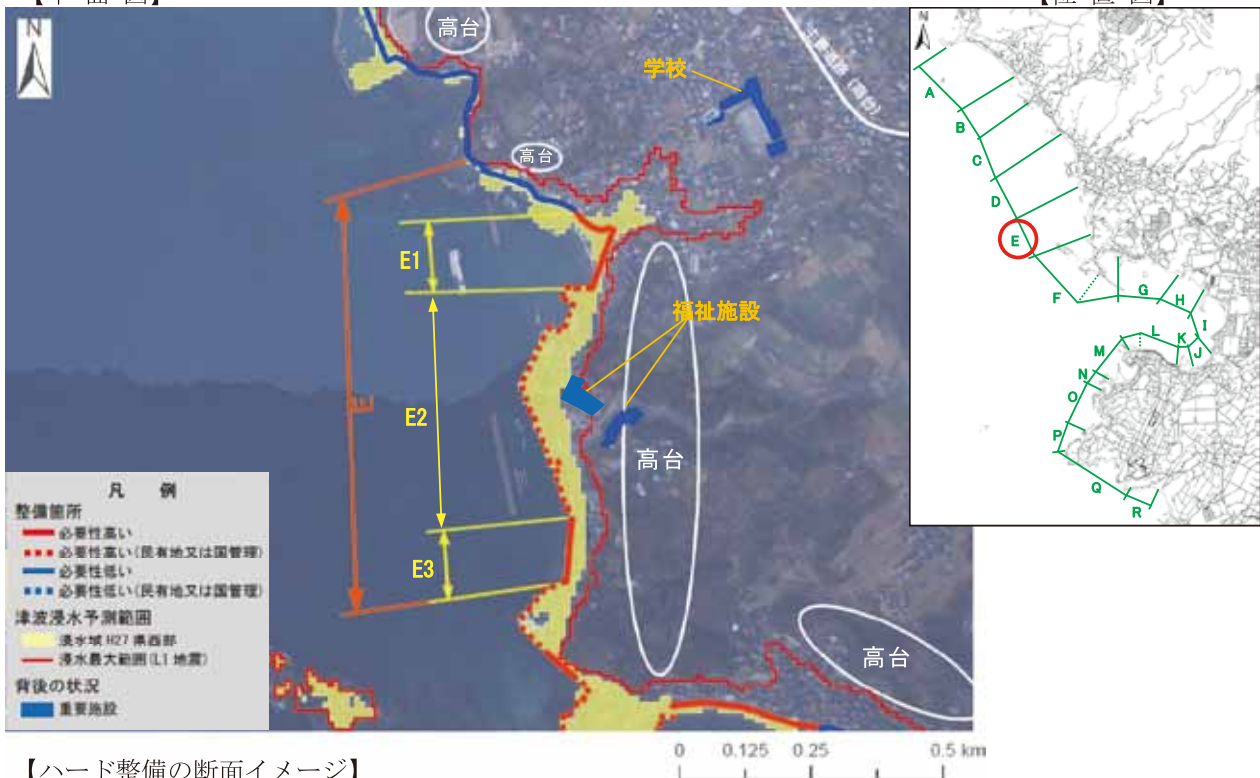
|                    |   |
|--------------------|---|
| ハード整備をする上で想定される問題点 | <ul style="list-style-type: none"> <li>河道沿いに整備可能な用地がないため、現時点で実施が困難である。</li> <li>河川管理者との調整が必要である。</li> </ul> |
| 備考                 |   |

【E地区】

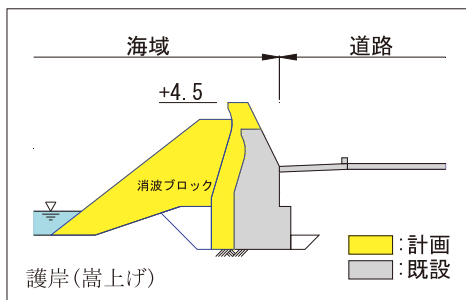
|           |   |  |            |                |               |
|-----------|---|--|------------|----------------|---------------|
| 海岸名       | 佐島漁港海岸  | 地区名  | 芦名         | 所管             | 水産庁           |
| 最大津波高     | T.P.+3.9m   |  | 計画波浪       | $H_0' = 4.09m$ | $T_0 = 10.9s$ |
| 優先する外力    | 津波（高潮）  |  | 設計高潮位      | T.P.+1.26m     |               |
| 現況天端高     | T.P.+3.3m ~ +3.6m   |  | 計画天端高      | T.P.+4.5m      |               |
| 整備タイプ     | 防護と利用に配慮した整備(IV)  |  | 住宅地への浸水の有無 | 有・無            |               |
| 海岸の地形・構造物 | 砂浜、物揚場、船揚場、護岸   |  | 背後地の利用状況   | 漁港、マリーナ、道路、住宅  |               |
| 地区状況      | 防護  | <ul style="list-style-type: none"> <li>海岸背後には住宅が密集し、津波浸水が想定されている。</li> <li>市道前面の護岸で越波（高潮）被害が発生している。</li> </ul> |            |                |               |
|           | 環境  | <ul style="list-style-type: none"> <li>漁港に隣接して砂浜（芦名海岸）がある。</li> </ul>  |            |                |               |
|           | 利用  | <ul style="list-style-type: none"> <li>佐島漁港（芦名地区）があり、漁業が営まれている。</li> <li>マリーナがある。</li> </ul>                   |            |                |               |
| ハード整備の概要  | <ul style="list-style-type: none"> <li>胸壁（新設） [E1]</li> <li>護岸（嵩上げ改良） [E2(民有)][E3]</li> <li>必要に応じて陸間やアクセス階段を整備</li> </ul> |  |            |                |               |

【平面図】

【位置図】



【ハード整備の断面イメージ】



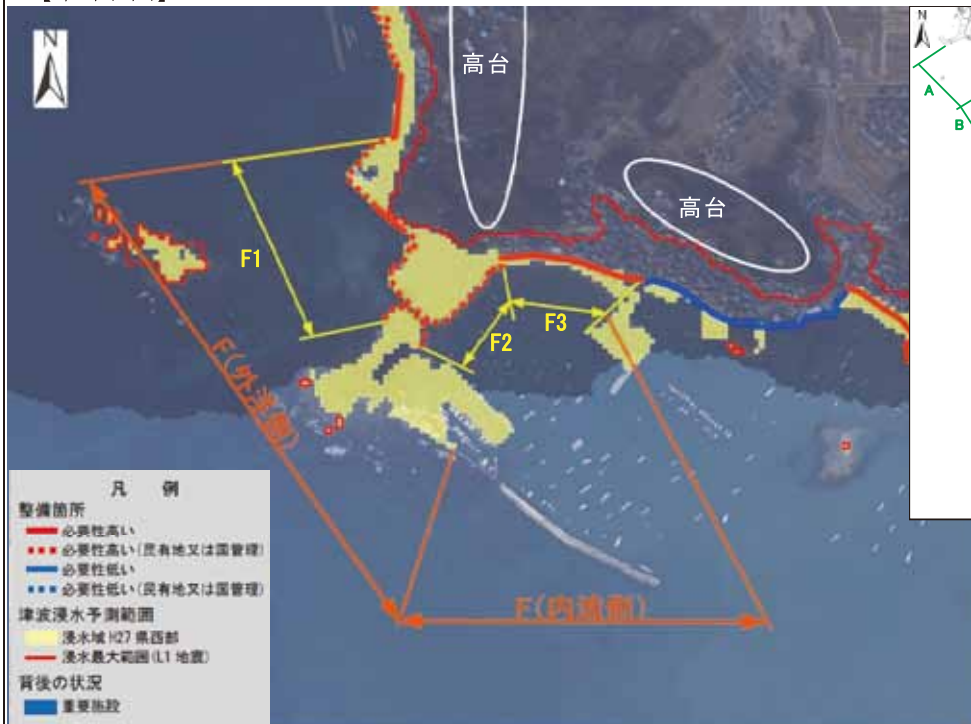
|                    |  |
|--------------------|--|
| ハード整備をする上で想定される問題点 | <ul style="list-style-type: none"> <li>施設整備に当たっては、景観やアクセス性への配慮が必要である。</li> <li>陸間を設置した場合には、管理等の調整が必要である。</li> <li>民有護岸（マリーナ等）については、所有者との調整が必要である。</li> <li>河川管理者との調整が必要である。</li> </ul> |
| 備考                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>過去に地域住民の意向により、高潮対策事業が中止になった経緯がある。</li> </ul>  |



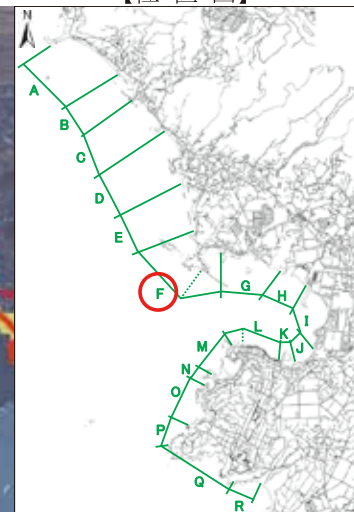
【F地区】

| 海岸名       | 佐島漁港海岸   | 地区名   |            | 本港外洋・内湾側 |  | 所管 |  | 水産庁 |  |
|-----------|--|---|------------|----------|--|----|--|-----|--|
| 最大津波高     | T.P.+5.9m (内湾側：+2.7m)  |   | 計画波浪       |          | H <sub>0</sub> ' =0.94m T <sub>0</sub> =9.4s |    |  |     |  |
| 優先する外力    | 津波   |   | 設計高潮位      |          | T.P.+1.26m                                   |    |  |     |  |
| 現況天端高     | T.P.+2.2m ~ +4.0m  |   | 計画天端高      |          | T.P.+6.0m (内湾側：+3.0m)                        |    |  |     |  |
| 整備タイプ     | 防護と利用に配慮した整備(IV)   |   | 住宅地への浸水の有無 |          | 有・無  |    |  |     |  |
| 海岸の地形・構造物 | 岩礁、砂浜、物揚場、船揚場、護岸   |   | 背後地の利用状況   |          | 漁港、マリーナ、商業施設、道路、住宅                           |    |  |     |  |
| 地区状況      | 防護   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・天神島周辺の住宅やマリーナでは、津波浸水が想定される。</li> <li>・漁港やマリーナに多くの船が係留されているため、津波による二次的災害が懸念される。</li> </ul> |            |          |  |    |  |     |  |
|           | 環境   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・天神島には、塩生植物群落がある。</li> </ul>   |            |          |  |    |  |     |  |
|           | 利用   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐島漁港（本港地区）があり、漁業が営まれている。</li> <li>・マリーナがある。</li> </ul>                                    |            |          |  |    |  |     |  |
| ハード整備の概要  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・護岸（嵩上げ改良） [F1][F2(民有)]</li> <li>・胸壁（新設） [F3]</li> <li>・必要に応じて陸開やアクセス階段を整備</li> </ul> |   |            |          |  |    |  |     |  |

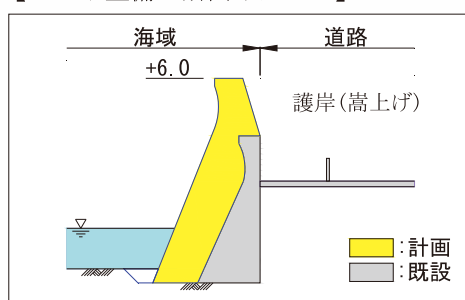
【平面図】



【位置図】



【ハード整備の断面イメージ】



|                    |  |
|--------------------|--|
| ハード整備をする上で想定される問題点 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設整備により、景観の悪化やアクセス性の低下が懸念される。</li> <li>・陸開を設置した場合には、管理等の調整が必要である。</li> <li>・民有の護岸は、所有者との調整が必要である。</li> </ul> |
| 備考                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・[F2, F3] 漁港施設による多重防護の考え方により、整備天端高の低減の可能性について検討が必要である。</li> </ul>   |

【G地区】

|           |                  |   |            |                |              |
|-----------|------------------|---|------------|----------------|--------------|
| 海岸名       | 佐島漁港海岸           | 地区名   | 谷戸芝        | 所管             | 水産庁          |
| 最大津波高     | T.P.+2.7m        |   | 計画波浪       | $H_0' = 2.81m$ | $T_0 = 4.7s$ |
| 優先する外力    | 津波               |   | 設計高潮位      | T.P.+1.28m     |              |
| 現況天端高     | T.P.+2.6m        |   | 計画天端高      | T.P.+3.0m      |              |
| 整備タイプ     | 防護と利用に配慮した整備(IV) |   | 住宅地への浸水の有無 | 有・無            |              |
| 海岸の地形・構造物 | 砂浜、岩礁、物揚場、船揚場、護岸 |   | 背後地の利用状況   | 漁港、道路、住宅       |              |
| 地区状況      | 防護               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁港施設は、津波浸水が想定される。</li> <li>・背後地には住宅があり、津波による浸水が小規模であるが想定される。</li> </ul> |            |                |              |
|           | 環境               | --  |            |                |              |
|           | 利用               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐島漁港(本港地区、谷戸芝地区)があり、漁業が営まれている。</li> </ul>                               |            |                |              |

ハード整備の概要

- ・胸壁(新設) [G1]
- ・必要に応じて陸開やアクセス階段を整備

【平面図】

【位置図】



【ハード整備の断面イメージ】



ハード整備をする上で想定される問題点

- ・漁港の利用に配慮した整備が必要である。
- ・陸開を設置した場合には、管理等の調整が必要である。
- ・胸壁の整備に当たっては、景観やアクセス性への配慮が必要である。

備考

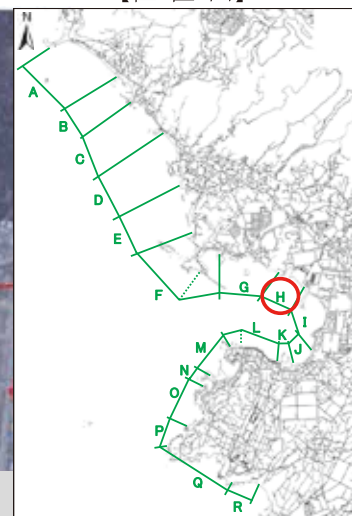
【H地区】

|           |              |  |            |              |           |
|-----------|--------------|--|------------|--------------|-----------|
| 海岸名       | 浄化センター       | 地区名  | —          | 所管           | 横須賀市上下水道局 |
| 最大津波高     | T. P. +3.6m  |  | 計画波浪       | —            |           |
| 優先する外力    | 津波           |  | 設計高潮位      | T. P. +1.28m |           |
| 現況天端高     | T. P. +1.5m  |  | 計画天端高      | T. P. +4.0m  |           |
| 整備タイプ     | 特殊な利用の海岸 (V) |  | 住宅地への浸水の有無 | 有・ <b>無</b>  |           |
| 海岸の地形・構造物 | 護岸、砂浜、岩礁     |  | 背後地の利用状況   | 浄化センター、研究施設  |           |
| 地区状況      | 防護           | <ul style="list-style-type: none"> <li>背後地は、浄化センターの敷地であり、津波浸水が想定される。</li> <li>河川（松越川）が流入している。</li> </ul> |            |              |           |
|           | 環境           | <ul style="list-style-type: none"> <li>アマモ場のある小田和湾に面している。</li> </ul>                                     |            |              |           |
|           | 利用           | <ul style="list-style-type: none"> <li>海岸線には浄化センターがあり、その背後に研究施設（立教大学、電力中央研究所）がある。</li> </ul>             |            |              |           |
| ハード整備の概要  | —            |  |            |              |           |

【平面図】



【位置図】



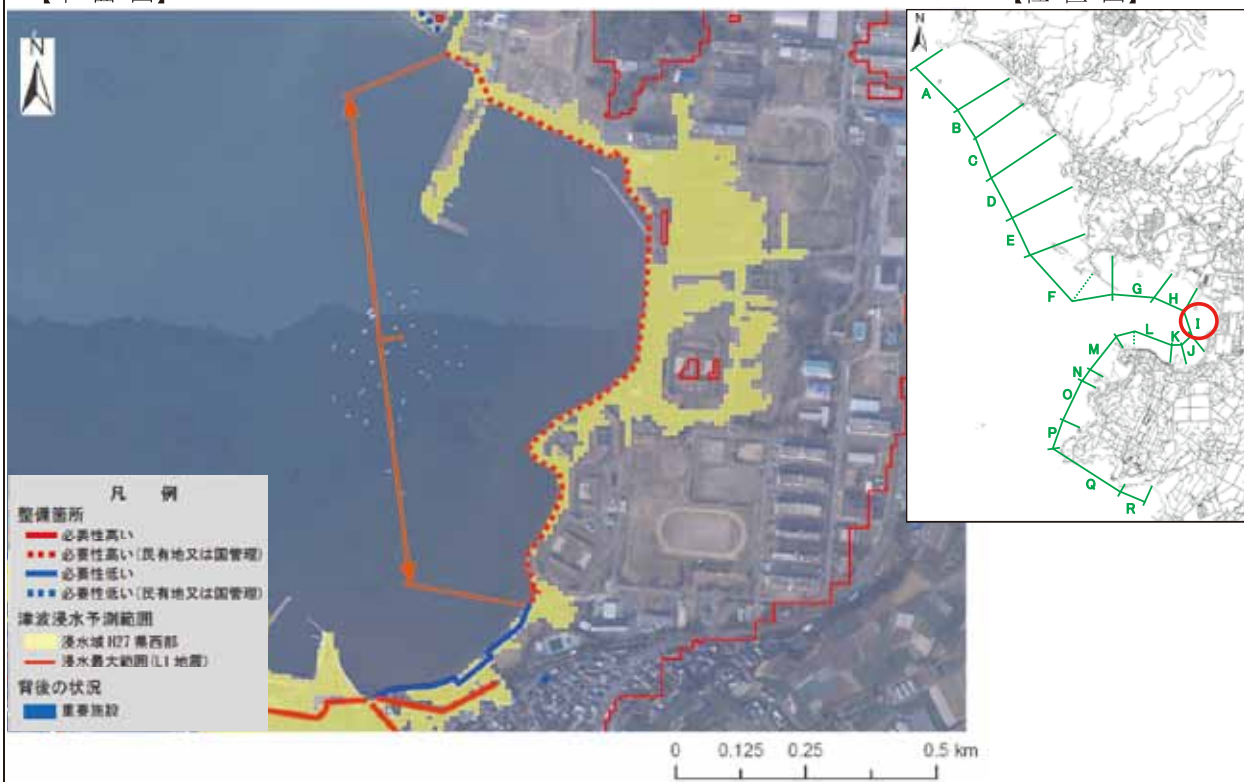
|                    |   |
|--------------------|---|
| ハード整備をする上で想定される問題点 | <ul style="list-style-type: none"> <li>海岸保全区域が設定されていない特殊な地区である。</li> <li>河川を遡上する津波の影響が懸念される。</li> </ul> |
| 備考                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>浄化センターでは津波に対する独自の検討を行い、建物の強化などの対策を予定している。</li> </ul>             |

【I地区】

|           |              |  |            |              |   |
|-----------|--------------|--|------------|--------------|---|
| 海岸名       | 自衛隊駐屯地       | 地区名  | —          | 所管           | — |
| 最大津波高     | T. P. +3. 2m |  | 計画波浪       | —            |   |
| 優先する外力    | 津波           |  | 設計高潮位      | —            |   |
| 現況天端高     | 不明           |  | 計画天端高      | T. P. +4. 0m |   |
| 整備タイプ     | 特殊な利用の海岸 (V) |  | 住宅地への浸水の有無 | 有 ・ (無)      |   |
| 海岸の地形・構造物 | 護岸、岸壁        |  | 背後地の利用状況   | 自衛隊駐屯地       |   |
| 地区状況      | 防護           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・津波浸水は駐屯地内であり、国道背後までは達しないと想定される。</li> <li>・防衛省では独自の検討を行っている。</li> </ul> |            |              |   |
|           | 環境           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・アマモ場のある小田和湾に面している。</li> </ul>  |            |              |   |
|           | 利用           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・海岸背後は自衛隊駐屯地である。</li> </ul>   |            |              |   |
| ハード整備の概要  | —            |  |            |              |   |

【平面図】

【位置図】



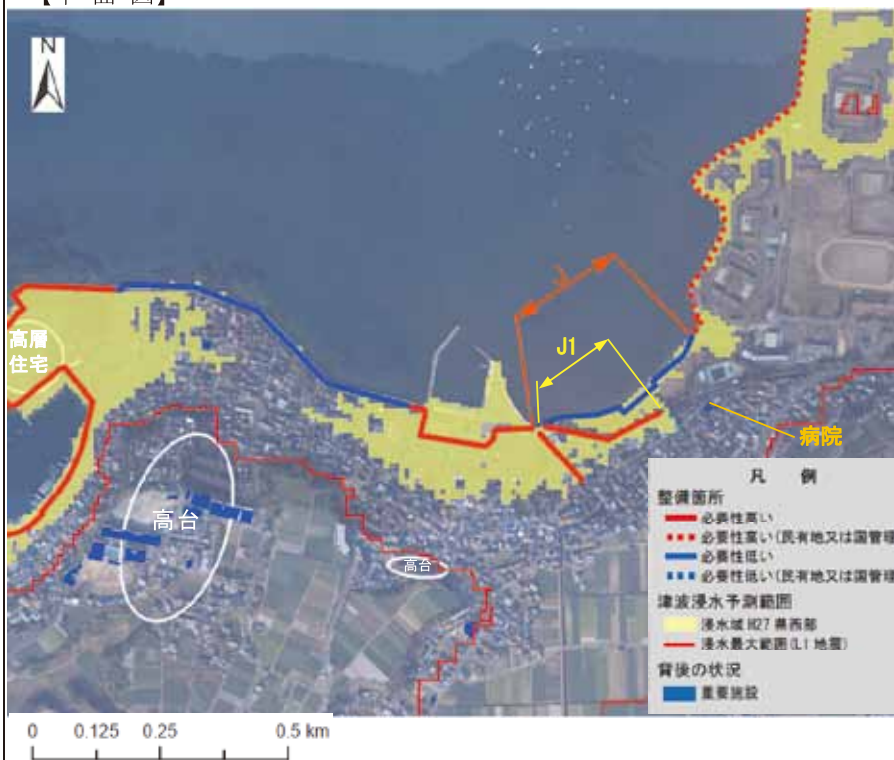
|                    |   |
|--------------------|---|
| ハード整備をする上で想定される問題点 | — |
| 備考                 | — |

【J地区】

| 海岸名       | 横須賀海岸         | 地区名   | 長井         | 所管             | 国土交通省        |
|-----------|---------------|---|------------|----------------|--------------|
| 最大津波高     | T. P. +3.3m   |   | 計画波浪       | $H_0' = 4.75m$ | $T_0 = 6.9s$ |
| 優先する外力    | 津波            |   | 設計高潮位      | T. P. +1.28m   |              |
| 現況天端高     | T. P. +3.5m   |   | 計画天端高      | T. P. +4.0m    |              |
| 整備タイプ     | 防護を主とした整備 (Ⅲ) |   | 住宅地への浸水の有無 | ○・無            |              |
| 海岸の地形・構造物 | 砂浜、護岸、堤防      |   | 背後地の利用状況   | 道路、住宅          |              |
| 地区状況      | 防護            | <ul style="list-style-type: none"> <li>背後地には住宅があり、津波浸水が想定される。</li> <li>竹川を遡上する津波の影響が懸念される。</li> </ul> |            |                |              |
|           | 環境            | <ul style="list-style-type: none"> <li>アマモ場のある小田和湾に面している。</li> <li>富浦公園があり、前面には砂浜が広がっている。</li> </ul>  |            |                |              |
|           | 利用            | ---   |            |                |              |

|          |  |
|----------|--|
| ハード整備の概要 | <ul style="list-style-type: none"> <li>河川護岸(高上げ改良) [J1]</li> </ul> |
|----------|--|

【平面図】



【位置図】



|                    |  |
|--------------------|--|
| ハード整備をする上で想定される問題点 | <ul style="list-style-type: none"> <li>河川沿いに住宅があるため、大規模な護岸整備は困難である。</li> <li>護岸の整備に当たっては景観への配慮が必要である。</li> <li>河川管理者との調整が必要である。</li> </ul> |
|--------------------|--|

|    |  |
|----|--|
| 備考 |  |
|----|--|

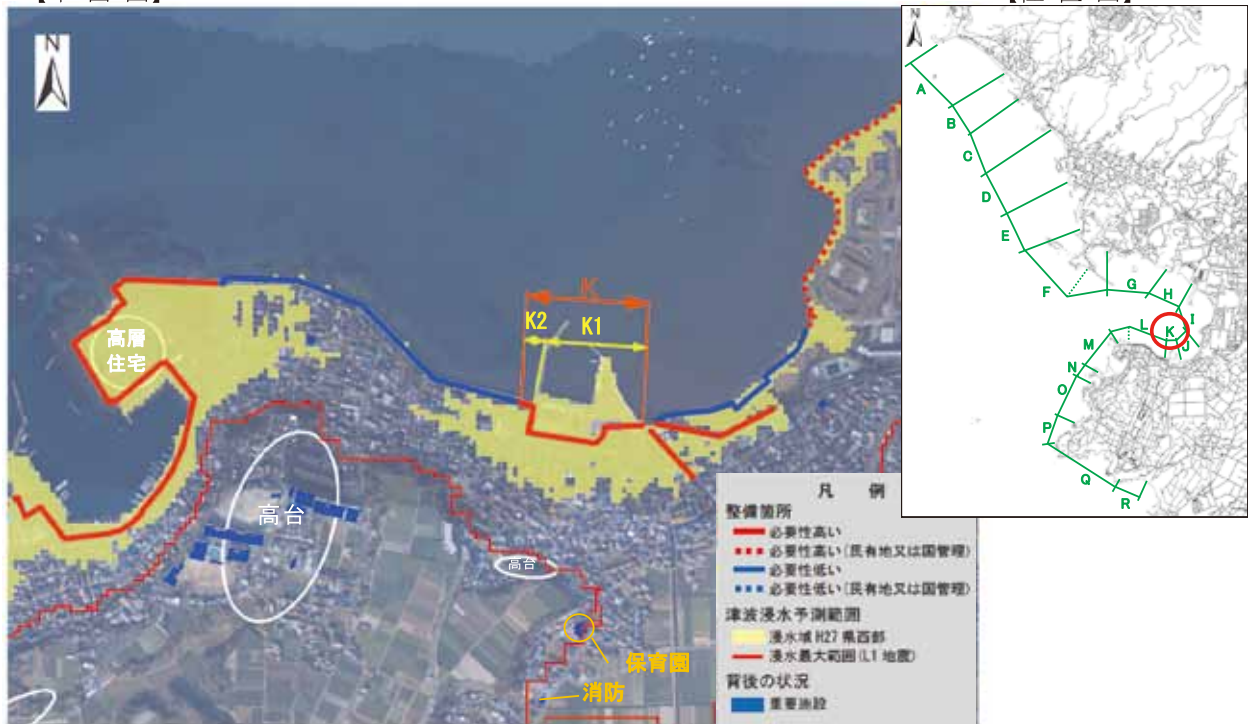
【K地区】

|           |                     |  |            |                |              |
|-----------|---------------------|--|------------|----------------|--------------|
| 海岸名       | 長井漁港海岸              | 地区名  | 井尻         | 所管             | 水産庁          |
| 最大津波高     | T. P. +3.8m         |  | 計画波浪       | $H_0' = 0.46m$ | $T_0 = 4.6s$ |
| 優先する外力    | 津波                  |  | 設計高潮位      | T. P. +1.28m   |              |
| 現況天端高     | T. P. +2.6m ~ +2.9m |  | 計画天端高      | T. P. +4.0m    |              |
| 整備タイプ     | 防護を主とした整備 (Ⅲ)       |  | 住宅地への浸水の有無 | 有・無            |              |
| 海岸の地形・構造物 | 物揚場、船揚場、護岸          |  | 背後地の利用状況   | 漁港、道路、住宅       |              |
| 地区状況      | 防護                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>背後地には住宅が密集し、津波による住宅の浸水が想定されている。</li> <li>漁港背後の既設護岸には、陸閘が整備されている。</li> </ul> |            |                |              |
|           | 環境                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>富浦公園に隣接している。</li> <li>アマモ場のある小田和湾に面している。</li> </ul>                         |            |                |              |
|           | 利用                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>長井漁港（井尻地区）があり、漁業が営まれている。</li> </ul>   |            |                |              |

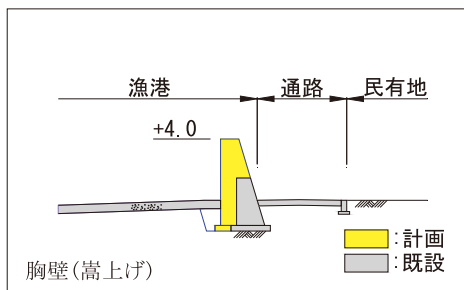
|          |  |
|----------|--|
| ハード整備の概要 | <ul style="list-style-type: none"> <li>胸壁（嵩上げ改良） [K1]</li> <li>護岸（嵩上げ改良） [K2]</li> </ul> |
|----------|--|

【平面図】

【位置図】



【ハード整備の断面イメージ】



|                    |  |
|--------------------|--|
| ハード整備をする上で想定される問題点 | <ul style="list-style-type: none"> <li>漁港施設用地の利用に配慮した整備が必要である。</li> <li>胸壁の整備に当たっては、景観への配慮が必要である。</li> </ul> |
|--------------------|--|

|    |  |
|----|--|
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> <li>隣接する高潮堤防（県管理）と接続するため、調整が必要である。</li> </ul> |
|----|--|

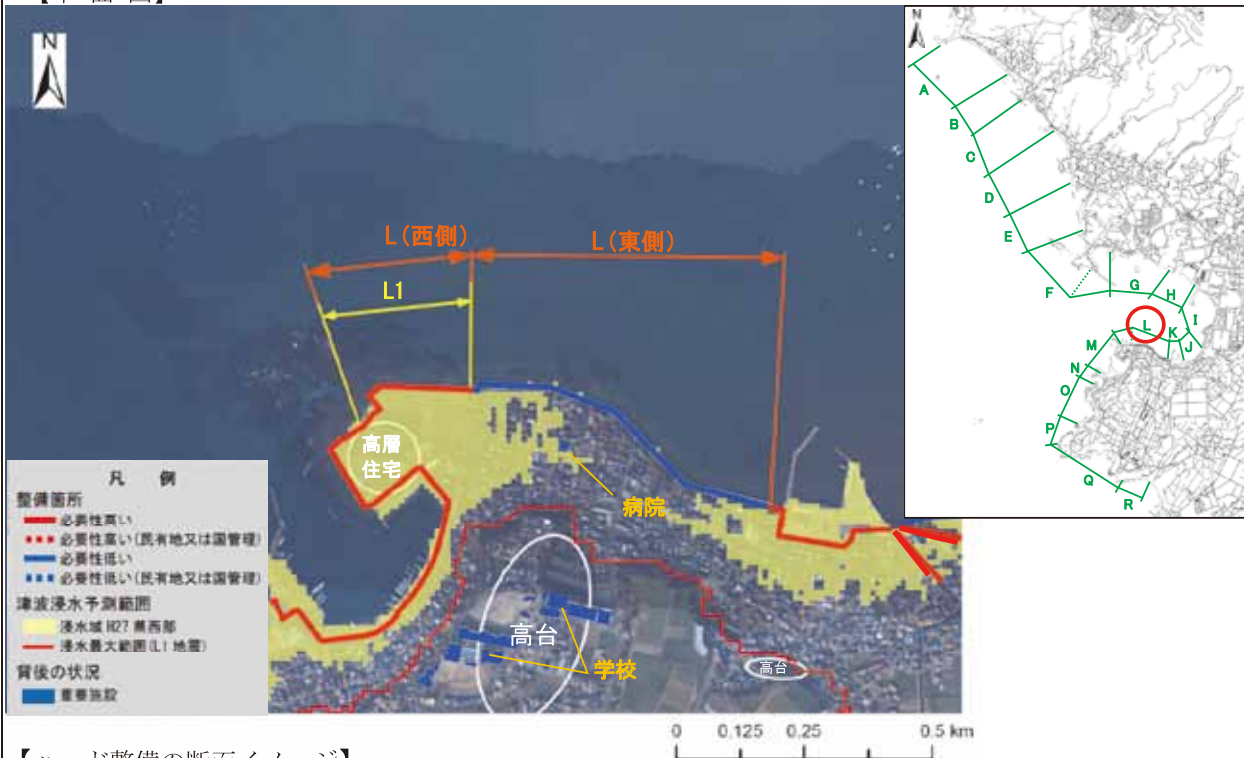
【L地区】

|           |                      |  |            |  |           |
|-----------|----------------------|--|------------|--|-----------|
| 海岸名       | 横須賀海岸                | 地区名  | 長井         | 所管   | 国土交通省・水産庁 |
| 最大津波高     | T.P.+5.7m (東側：+3.7m) |  | 計画波浪       | H <sub>0</sub> ' =4.75m T <sub>0</sub> =6.9s |           |
| 優先する外力    | 津波                   |  | 設計高潮位      | T.P.+1.28m                                   |           |
| 現況天端高     | T.P.+2.9m ~ +5.0m    |  | 計画天端高      | T.P.+6.0m (東側：+4.0m)                         |           |
| 整備タイプ     | 防護を主とした整備 (Ⅲ)        |  | 住宅地への浸水の有無 | 有・無  |           |
| 海岸の地形・構造物 | 堤防、護岸                |  | 背後地の利用状況   | 道路、住宅  |           |
| 地区状況      | 防護                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>背後地に住宅が密集し、津波による住宅の浸水が想定されている。</li> <li>背後地に集合住宅 (県営住宅) がある。</li> </ul> |            |  |           |
|           | 環境                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>アマモ場のある小田和湾に面している。</li> <li>西側は岩礁が広がっている。</li> </ul>                    |            |  |           |
|           | 利用                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>堤防 (県管理) の上部は遊歩道として利用されている。</li> </ul>                                  |            |  |           |

|          |   |
|----------|---|
| ハード整備の概要 | <ul style="list-style-type: none"> <li>護岸 (嵩上げ改良) [L1]</li> </ul> |
|----------|---|

【平面図】

【位置図】



【ハード整備の断面イメージ】



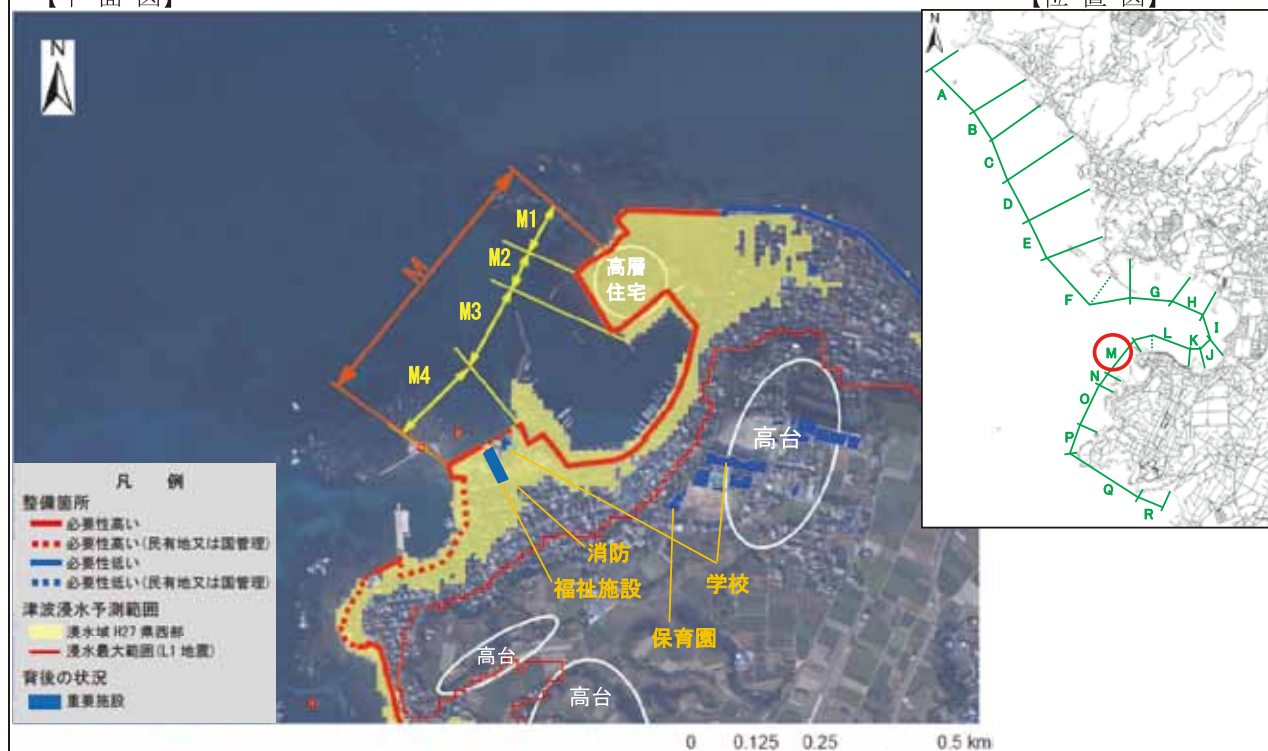
|                    |  |
|--------------------|--|
| ハード整備をする上で想定される問題点 | <ul style="list-style-type: none"> <li>護岸の嵩上げ改良に当たっては、景観への配慮が必要である。</li> </ul>     |
| 備考                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>隣接する高潮堤防 (県管理) と接続するため、調整が必要である。</li> </ul> |

【M地区】

|           |   |   |            |                |              |
|-----------|---|---|------------|----------------|--------------|
| 海岸名       | 長井漁港海岸  | 地区名   | 本港         | 所管             | 水産庁          |
| 最大津波高     | T. P. +5.9m   |   | 計画波浪       | $H_0' = 0.94m$ | $T_0 = 9.4s$ |
| 優先する外力    | 津波  |   | 設計高潮位      | T. P. +1.28m   |              |
| 現況天端高     | T. P. +2.0m ~ +2.9m   |   | 計画天端高      | T. P. +6.0m    |              |
| 整備タイプ     | 防護と利用に配慮した整備(IV)  |   | 住宅地への浸水の有無 | 有・無            |              |
| 海岸の地形・構造物 | 岩礁、物揚場、船揚場、護岸   |   | 背後地の利用状況   | 漁港、道路、住宅       |              |
| 地区状況      | 防護  | <ul style="list-style-type: none"> <li>背後地は津波浸水が想定され、特に集合住宅（県営住宅）付近と漁港の市場付近の浸水範囲が広い。</li> <li>漁港やマリーナに多くの船が係留されているため、津波による二次的災害が懸念される。</li> </ul> |            |                |              |
|           | 環境  | <ul style="list-style-type: none"> <li>部分的に岩礁が広がっている。</li> </ul>  |            |                |              |
|           | 利用  | <ul style="list-style-type: none"> <li>長井漁港（本港地区）があり、漁業が営まれている。</li> </ul>  |            |                |              |
| ハード整備の概要  | <ul style="list-style-type: none"> <li>護岸(嵩上げ改良) [M1][M2][M4]</li> <li>胸壁(新設) [M3]</li> <li>必要に応じて陸囲やアクセス階段を整備</li> </ul> |   |            |                |              |

【平面図】

【位置図】



【ハード整備の断面イメージ】



|                    |  |
|--------------------|--|
| ハード整備をする上で想定される問題点 | <ul style="list-style-type: none"> <li>漁港施設用地の利用に配慮した整備が必要である。</li> <li>陸囲を設置する場合には管理等の調整が必要である。</li> <li>施設の整備に当たっては、景観やアクセス性への配慮が必要である。</li> <li>民有護岸については、所有者との調整が必要である。</li> </ul> |
| 備考                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>[M2, M3] 漁港施設による多重防護の考え方により、整備天端高の低減の可能性について検討が必要である。</li> </ul>  |



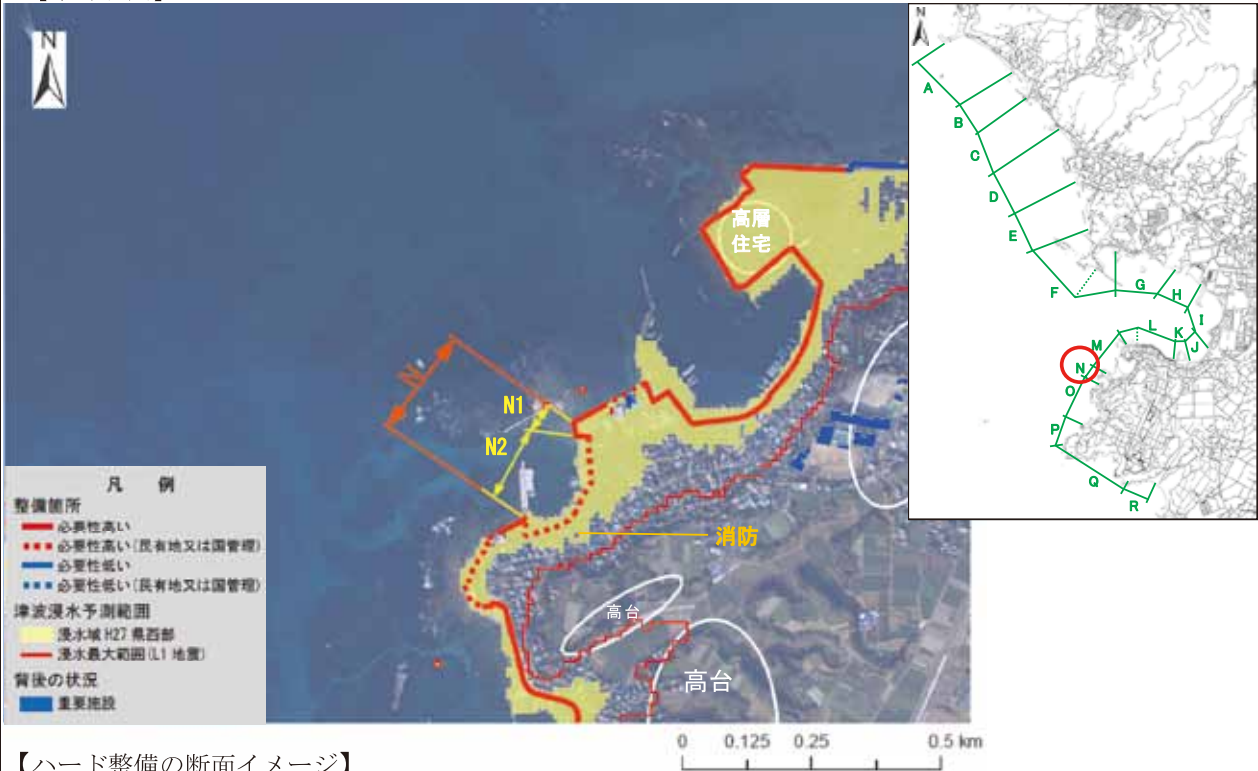
【N地区】

|           |                  |                            |            |                 |               |
|-----------|------------------|----------------------------|------------|-----------------|---------------|
| 海岸名       | 長井漁港海岸           | 地区名                        | 新宿         | 所管              | 水産庁           |
| 最大津波高     | T. P. +4. 6m     |                            | 計画波浪       | $H_0' = 2. 61m$ | $T_0 = 6. 9s$ |
| 優先する外力    | 津波               |                            | 設計高潮位      | T. P. +1. 28m   |               |
| 現況天端高     | T. P. +2. 0m     |                            | 計画天端高      | T. P. +6. 0m    |               |
| 整備タイプ     | 防護と利用に配慮した整備(IV) |                            | 住宅地への浸水の有無 | 有・無             |               |
| 海岸の地形・構造物 | 物揚場、船揚場、護岸       |                            | 背後地の利用状況   | 漁港、道路、住宅        |               |
| 地区状況      | 防護               | ・背後地には住宅が密集し、津波浸水が想定されている。 |            |                 |               |
|           | 環境               | ――                         |            |                 |               |
|           | 利用               | ・長井漁港(新宿地区)があり、漁業が営まれている。  |            |                 |               |

|          |  |
|----------|--|
| ハード整備の概要 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・護岸(嵩上げ改良) [N1]</li> <li>・胸壁(新設) [N2(民有用地)]</li> <li>・必要に応じて陸間やアクセス階段を整備</li> </ul> |
|----------|--|

【平面図】

【位置図】



【ハード整備の断面イメージ】



|                    |   |
|--------------------|---|
| ハード整備をする上で想定される問題点 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁港施設用地の利用に配慮した整備が必要である。</li> <li>・施設の整備に当たっては、景観やアクセス性への配慮が必要である。</li> <li>・陸間を設置する場合には、管理等の調整が必要である。</li> <li>・民有護岸については、所有者との調整が必要である。</li> </ul> |
|--------------------|---|

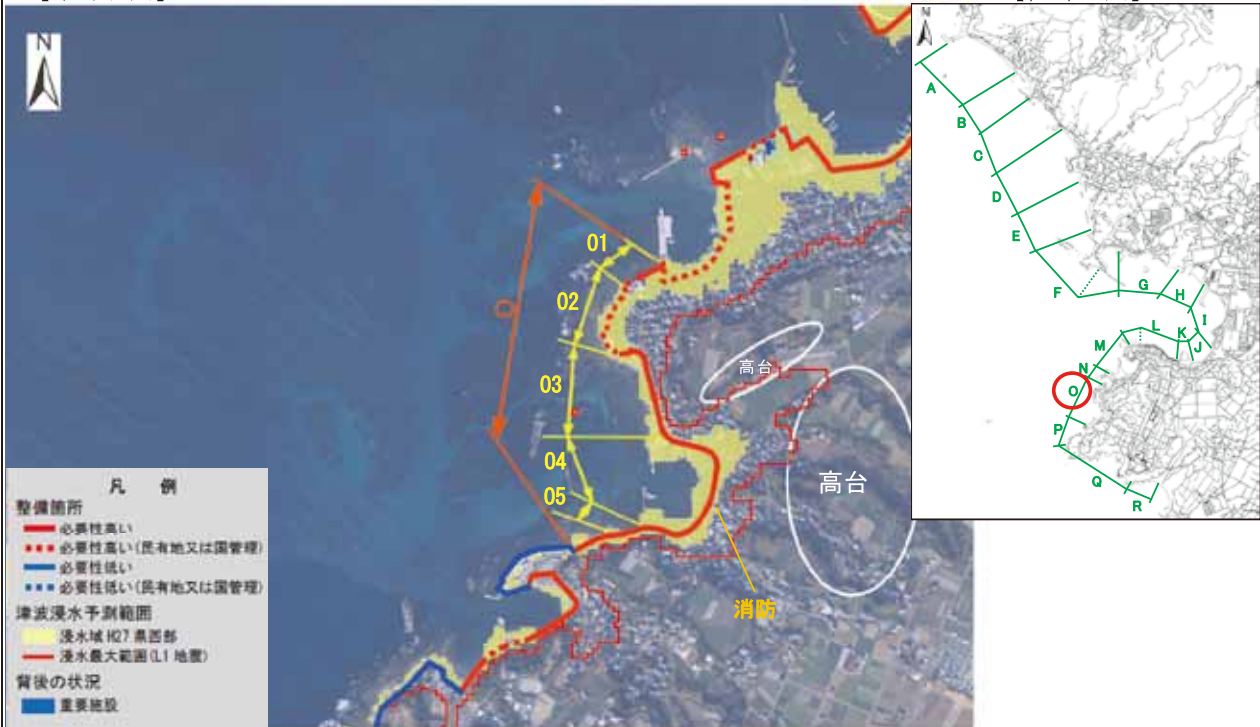
|    |  |
|----|--|
| 備考 |  |
|----|--|

【O地区】

|           |   |   |            |                |               |
|-----------|---|---|------------|----------------|---------------|
| 海岸名       | 長井漁港海岸  | 地区名   | 漆山         | 所管             | 水産庁           |
| 最大津波高     | T.P.+5.2m (T.P.+3.6m)   |   | 計画波浪       | $H_0' = 1.03m$ | $T_0 = 11.9s$ |
| 優先する外力    | 津波(高潮)  |   | 設計高潮位      | T.P.+1.28m     |               |
| 現況天端高     | T.P.+1.8m ~ +3.5m   |   | 計画天端高      | T.P.+6.0m      |               |
| 整備タイプ     | 防護と利用に配慮した整備(IV)  |   | 住宅地への浸水の有無 | ○・無            |               |
| 海岸の地形・構造物 | 岩礁、物揚場、船揚場、護岸   |   | 背後地の利用状況   | 漁港、道路、住宅       |               |
| 地区状況      | 防護  | <ul style="list-style-type: none"> <li>背後地には住宅が密集し、一部の住宅は海岸に面している。</li> <li>津波による住宅への浸水が想定される。</li> <li>高潮による被害(越波・越流)が発生している。</li> </ul> |            |                |               |
|           | 環境  | <ul style="list-style-type: none"> <li>海岸線には岩礁が広がっている。</li> </ul>   |            |                |               |
|           | 利用  | <ul style="list-style-type: none"> <li>長井漁港(漆山地区)があり、漁業が営まれている。</li> </ul>  |            |                |               |
| ハード整備の概要  | <ul style="list-style-type: none"> <li>護岸(嵩上げ改良) [01][05]</li> <li>胸壁(新設) [02(民有)][03][04]</li> <li>必要に応じて陸間やアクセス階段を整備</li> </ul> |   |            |                |               |

【平面図】

【位置図】



【ハード整備の断面イメージ】



ハード整備をする上で想定される問題点

- ・漁港施設用地の利用に配慮した整備が必要である。
- ・施設の整備に当たっては、景観やアクセス性への配慮が必要である。
- ・陸間を設置する場合には、管理等の調整が必要である。
- ・民有の護岸は、所有者との調整が必要である。

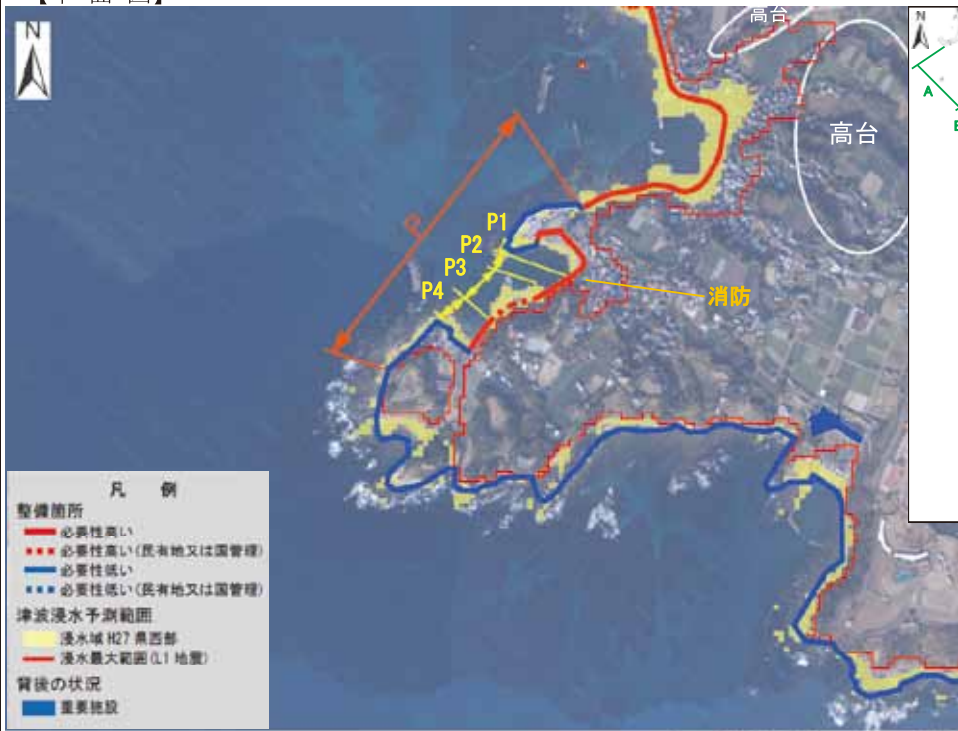
備考

- ・[04]整備天端高の低減の可能性について検討が必要である。

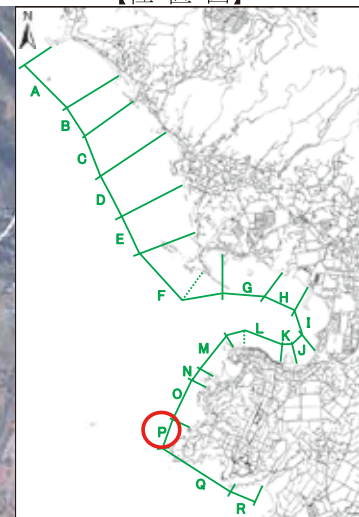
【P地区】

|           |   |   |            |                |               |
|-----------|---|---|------------|----------------|---------------|
| 海岸名       | 長井漁港海岸  | 地区名   | 荒井         | 所管             | 水産庁           |
| 最大津波高     | T.P.+3.2m (T.P.+2.3m)   |   | 計画波浪       | $H_0' = 1.65m$ | $T_0 = 11.9s$ |
| 優先する外力    | 津波(高潮)  |   | 設計高潮位      | T.P.+1.28m     |               |
| 現況天端高     | T.P.+1.5m ~ +3.1m   |   | 計画天端高      | T.P.+3.5m      |               |
| 整備タイプ     | 防護と利用に配慮した整備(IV)  |   | 住宅地への浸水の有無 | 有・無            |               |
| 海岸の地形・構造物 | 岩礁、物揚場、船揚場、護岸   |   | 背後地の利用状況   | 漁港、道路、住宅       |               |
| 地区状況      | 防護  | <ul style="list-style-type: none"> <li>背後地の一部で住宅が密集し、津波浸水が想定される。</li> <li>高潮による被害(越波、越流)が発生している。</li> </ul> |            |                |               |
|           | 環境  | <ul style="list-style-type: none"> <li>海岸線には岩礁が広がっている。</li> </ul>   |            |                |               |
|           | 利用  | <ul style="list-style-type: none"> <li>長井漁港(荒井地区)があり、漁業が営まれている。</li> </ul>                                  |            |                |               |
| ハード整備の概要  | <ul style="list-style-type: none"> <li>護岸(嵩上げ改良) [P2][P4]</li> <li>胸壁(新設) [P1][P3]</li> </ul> |   |            |                |               |

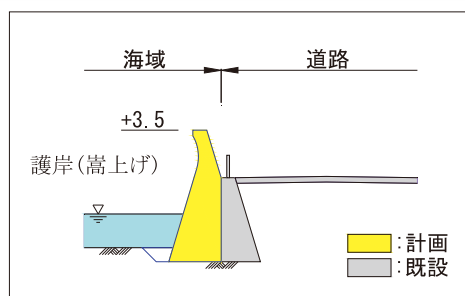
【平面図】



【位置図】



【ハード整備の断面イメージ】



ハード整備をする上で想定される問題点

- ・漁港施設用地の利用に配慮した整備が必要である。
- ・施設の整備に当たっては、景観やアクセス性への配慮が必要である。
- ・陸閘を設置する場合は、管理等の調整が必要である。
- ・民有護岸は、所有者との調整が必要である。

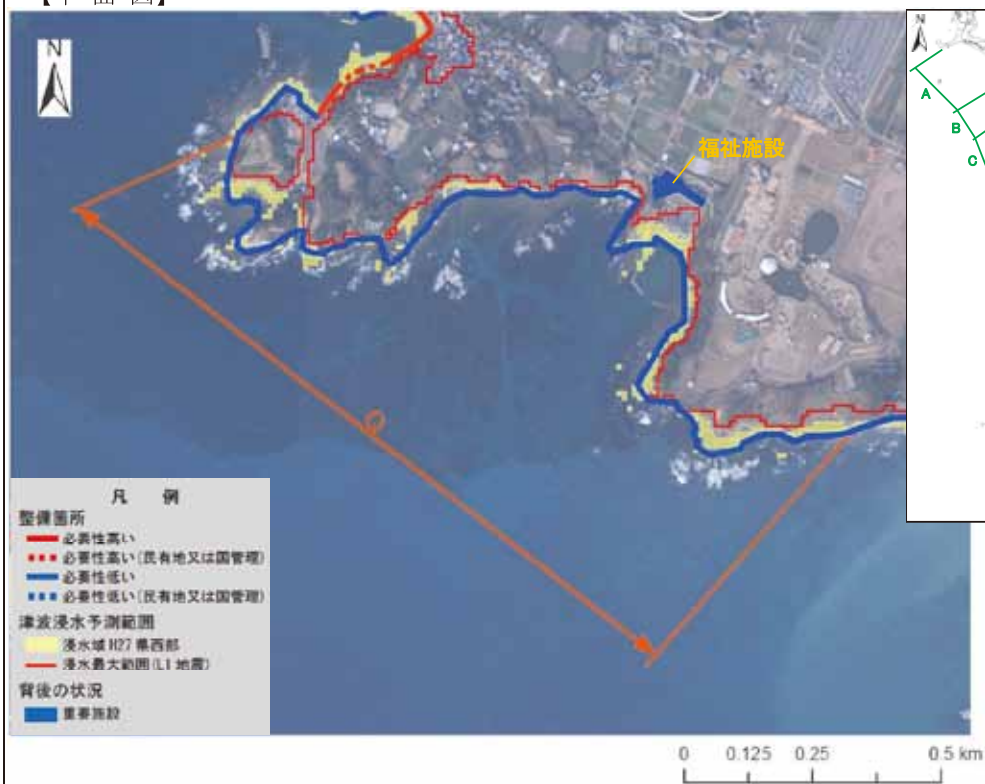
備考

- ・[P1, P2]整備天端高の低減の可能性について検討が必要である。
- ・近隣地区の対策状況を考慮する必要がある。

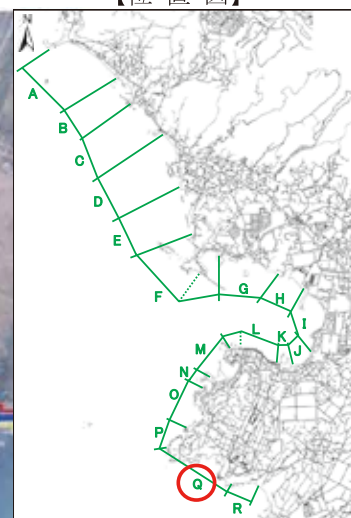
【Q地区】

|           |   |   |            |       |       |
|-----------|---|---|------------|-------|-------|
| 海岸名       | 一般公共海岸  | 地区名   | —          | 所管    | 国土交通省 |
| 最大津波高     | T. P. +4. 4m  |   | 計画波浪       | —     |       |
| 優先する外力    | 津波  |   | 設計高潮位      | —     |       |
| 現況天端高     | 10m以上   |   | 計画天端高      | —     |       |
| 整備タイプ     | 環境保全（I）   |   | 住宅地への浸水の有無 | 有 ・ 無 |       |
| 海岸の地形・構造物 | 岩礁  |   | 背後地の利用状況   | —     |       |
| 地区状況      | 防護  | ・断崖が続く地形で背後は高台であり、特に防護が必要な施設は見られない。           |            |       |       |
|           | 環境  | ・かながわの景勝50選に選ばれた「荒崎」があり、海岸植生が豊かな岩礁帯である。（荒崎公園） |            |       |       |
|           | 利用  | —   |            |       |       |
| ハード整備の概要  | ・背後に居住地がなく、自然豊かな海岸であるため、施設整備による防護は行わない。<br>・波浪等により侵食を受けない管理を行っていく必要がある。 |   |            |       |       |

【平面図】



【位置図】



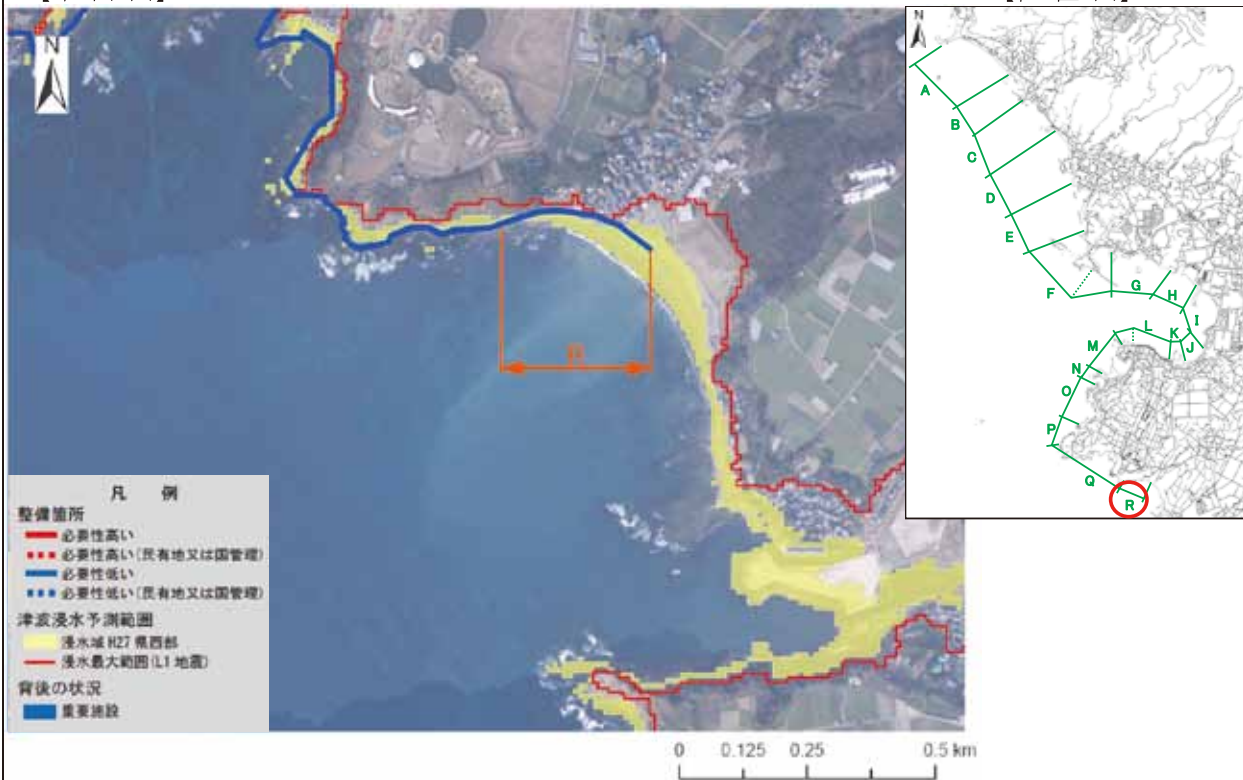
|                    |   |
|--------------------|---|
| ハード整備をする上で想定される問題点 | — |
| 備考                 |   |

【R地区】

|           |   |   |            |       |       |
|-----------|---|---|------------|-------|-------|
| 海岸名       | 一般公共海岸  | 地区名   | —          | 所管    | 国土交通省 |
| 最大津波高     | T. P. +4. 0m  |   | 計画波浪       | —     |       |
| 優先する外力    | 津波  |   | 設計高潮位      | —     |       |
| 現況天端高     | T. P. +4. 4m ~ +30m   |   | 計画天端高      | —     |       |
| 整備タイプ     | 環境保全 (I)  |   | 住宅地への浸水の有無 | 有 ・ 無 |       |
| 海岸の地形・構造物 | 岩礁、砂浜   |   | 背後地の利用状況   | 道路、住宅 |       |
| 地区状況      | 防護  | <ul style="list-style-type: none"> <li>断崖が続く地形と砂浜がある。</li> <li>砂浜の背後は高台であり、住宅への浸水は見られない。</li> </ul> |            |       |       |
|           | 環境  | <ul style="list-style-type: none"> <li>海岸植生が豊かな岩礁帯と砂浜がある。</li> </ul>                                |            |       |       |
|           | 利用  | <ul style="list-style-type: none"> <li>砂浜は海水浴に利用されている。</li> </ul>                                   |            |       |       |
| ハード整備の概要  | <ul style="list-style-type: none"> <li>自然豊かな海岸であるため、施設整備による防護は行わない。</li> <li>波浪等により侵食を受けない管理を行っていく必要がある。</li> </ul> |   |            |       |       |

【平面図】

【位置図】



|                    |   |
|--------------------|---|
| ハード整備をする上で想定される問題点 | — |
| 備考                 |   |